



かがやく麻生中



令和8年5月8日発行
(第71号)
行方市立麻生中学校
住所:行方市南327-3

自分の思いや考えをよりよく表現し課題解決できる(語り場 学び場 麻生中)

～県東地区陸上記録会～

5月12日(火)に実施予定の県東地区陸上競技大会に向けて、全体練習を実施しています。短距離(100m、200m、400m)、ハードル(100mH、110mH)、長距離(800m、1500m、3000m)、走幅跳、走高跳、砲丸投に多くの生徒がチャレンジしています。本校は、バス運行の都合により、保護者送迎等についてご支援いただいております。支援なくして練習は成り立ちません。深く感謝申し上げます。また、練習に参加できない生徒も動画で動きのポイントを確認したり、ストレッチをしたりと、各家庭で練習しているという声を聞くと、うれしく思います。結果はとても大切です。一方、自己目標に向けて最後まであきらめず競技することも大切です。また、陸上に挑戦しようとした志こそ、最も大切な価値かもしれません。陸上が終わった後、それぞれの生徒が、自分だけの価値を見付けてほしいと思います。一つ一つの意味づけや価値付けが、次の行動や活動へつながると思います。



残された練習期間は短いですが、ケガをしないよう、最大限の力を発揮できるよう支援してまいります。保護者の皆様におかれましては、引き続き、ご支援・励ましをお願いいたします。

ファイト 陸上選手

～麻生ボックス～

5月8日(金)朝活動の時間を活用して「麻生ボックス」を実施しました。今回は教師が司会等を務めるのではなく、生徒司会によって進行了ました。テーマは「思いやり」でした。思いやりの意味について、対話をとおして理解を深めました。1年生は、活発にそれぞれの考える「思いやり」について意見交換しました。3年生は、しつとりと聴き合いながら、思いやりの持つ意味について、それぞれの価値観の共通項を見いだす話し合いとなりました。発達段階において、深まりは違いますが、「自分の思いや考えをよりよく表現し課題を解決しようとする姿」を見ることができました。



～成長～

5月8日(金)1学年の学級役員任命がありました。生徒は過日の宿泊学習を体験し、生徒同士のコミュニケーションがより活発になっている姿が見られます。また、リーダー、サブリーダー、フォロワーの役割を担う生徒も出現してきました。自分たちのことは自分たちで達成したいという自治性の芽も生まれ始めています。



中学校時代は、二次成長のまっただ中、大人と子どもの中間地点でもあり自我を形づくっていく大切な時期です。他者を写し鏡としながら本当の自分を理解し受容していくために時に自己を否定したり他者を傷つけてしまい悩むこともあるのも、この時期です。コミュニケーションの齟齬から人間関係がうまくいかなくなったり、進路や学習に悩んだりするのも、この時期ならではの姿です。集団活動や体験活動をとおして、他者への理解・受容を深めていくことは、自己理解・受容へとつながります。宿泊学習で得た経験を次の活動へ生かしながら、「多様性への理解」を深め、自己の成長へつなげていけるよう支援してまいります。また、部活動への加入とともに新たな心配や不安も生まれます。生徒が多くの経験を重ね、挫折・失敗を乗り越え、成長していく姿、たくましく自立していく姿を保護者の皆様と見とっていきたいと思います。引き続き連携した支援について、よろしくお願いいたします。

当たり前のことですが、草花は「日光・水・肥料」を適切に施すことで大きく成長します。美しい花々は、本当に人の心を潤します。

